

田原市立田原福祉専門学校同窓会機関誌

たっ ぶ く だより

No. 14

編集発行 平成 23 年 3 月 1 日
田原福祉専門学校同窓会
会長 松原 宣子



「旅をとおして」

同窓会会長 松原 宣子

昨年の十二月にフランスに行ってきました。クリスマスシーズンで街は電飾できれいに飾られています。添乗員さんからは、スリが多いので気をつけるようにと言われていました。

パリではメトロ(地下鉄)を使い観光地を回りました。旅も最終日になり気が抜けていたのかスリに出会いました。三人組の子供でした。ジプシーのスリが多いとのこと。幸いスリと分かったので何も取られずに済みました。でも、とても怖い思いをしました。そんなメトロで驚いたことがあります。日本の地下鉄と同じように折たたみの椅子があります。空いていれば座りますが、電車が混み始めると、座っている人は皆立ちます。私は初め分からずに座っていました。でも、娘から「混んできたら立つのよ。」と言われ驚きました。フランスでのマナーなのかと感心しました。日本では地下鉄は安全ですが、優しさがあるのかと、ふと考えさせられた場面でした。

卒業生の職場 インタビュー in福寿園

本年度は、同窓会役員の福井武則さんの職場である福寿園で活躍する卒業生を直撃!貴重なお話を伺うことができました。皆さん御協力ありがとうございました。インタビューアの福井さん……お疲れ様でした。

十期生 藤江紅美さん

(四年目)

実際四年目になるわけですが、お仕事はどうですか?今お仕事はどの部署で何をやっていきますか?

入社してからずっとデイサービスでの勤務で、とても楽しく働かせてもらっています。

なるほど。・・・家は豊橋でしたね?豊橋からだとして、「たつぶく」も

「福寿園」も田原ということで、通学や通勤大変ではなかったですか?

家が富士見台ということもあるのですが、そんなに遠くはないです。両親も田原に住んでおり、田原にはよく遊びに来ていましたし、高校も田原だったので、田原の人の人柄の良さと言ったか、あつたかさ、すぐのどかで、田原が好きで、そんな田原で勉強したいと思いい、「たつぶく」を選んだんです。

へえ。それで、卒業後福寿園

はい、やはり田原に勤めたかったの、福寿園を選びました。

なるほど、福寿園でデイサービスをやった、田原の人と、より一層仲良くなったんですね。

そうですね、ずっとデイサービスということもあるので、毎日、田原の農道だとか、街のなかを送迎していますし、デイサービスの利用者さんだけでなく、御家族様とも交流させてもらっています。田原の方々、みなさん温かい方達ばかりで、御家族様と接することも楽しみなんです。



最後にひとつ、今のお仕事にやりがいを感じていますか?

はい。感じています。

ありがとうございます。では、これから田原で頑張ってください。はい。田原で頑張ります。

十二期生 福井崇嗣さん

(もうすぐ一年)

この四月から働いて、もうすぐ一年ということ、そもそも介護福祉業界に進もうと思ったきっかけは何かあるのですか?

はい。昔、福祉関係の職場に体験

に行きまして、その仕事に興味を沸かしたため、「たつぶく」に進学して学んでみようかな、と思いました。

そこで二年間様々なことを学んで卒業されて、福寿園に就職を果たしたので、実際勉強して、一年弱働いてみてどうですか?

今の担当部署は認知症の方がメインの棟なのですが、たつぶく時代で学んだことや経験したことのおかげで利用者さんとの関わり方がスムーズにできています。

勉強したからこそ、認知症の方ともうまく関わっていると……そんな気がするよ。

はい、そんな気がします。

逆に「たつぶく」に行かずに就職してしまっただらどうなっていたかわからない?

そうですね、たつぶくでの勉強や体験をしていなかったら、何をどうすればいいのかわからなくなってしまうかなかったですね。きつともっと困っていたりもしたかもしれません。

では、これで一年経とうとしていきますけれども、認知症の方もそうでない方も含めて介護を続けていくということですね。

はい。

頑張ってください。頑張ります。

九期生 伊藤実佐子さん

(五年目)

働きはじめて五年ということですが、五年たって、今何か思うことはありますか?

そうですね、「田原福祉専門学校」を卒業して五年になりますが、本当にあつたという間に過ぎた気がします。最初の一年、二年目は慣れないことも多くて、一つひとつ仕事をこなすのが精一杯でした。その度に、職場の先輩たちや利用者さんの笑顔に支えられてきました。五年経ち、今は先輩達もたくさん入ってきて、私自身が仕事を教える立場になり、たつぶくで勉強しておいて本当によかったと改めて感じています。やはり専門知識があるかないかでは、全然違うなあと感じます。私も、もし専門学校に行かずに就職していたらもっと苦労していたのではないかと思います。学校で習うことがすべてではないし、実際に働いてみて日々変わっていく利用者さんの状態や援助方法に悩むことも多いです。でも、身につけた知識や技術は絶対に無駄になることはないの、今「たつぶく」で勉強している後輩の皆さんには、是非頑張ってくださいと思います。そして一緒に福寿園で働きましょう。私もこれからも頑張ります。

七期生 神谷君枝さん

(五年目)



たつぶくを卒業されて、福寿園で働いておりますけれども、どうですか？

はい、私は四年間この施設で正職員として働いています。一度は結婚、出産のため退職をしましたが、またパート職員として働かせていただくことになりました。それは、学生時代から今でも変わらないのですが、人との関わりが好きだということが理由の一つにあります。入居者の方々はもちろんです、そのご家族や職場の先輩や後輩などの多くの方々と接する中で、たくさんのお事を勉強させていただき、やりがいのある仕事だと思っています。

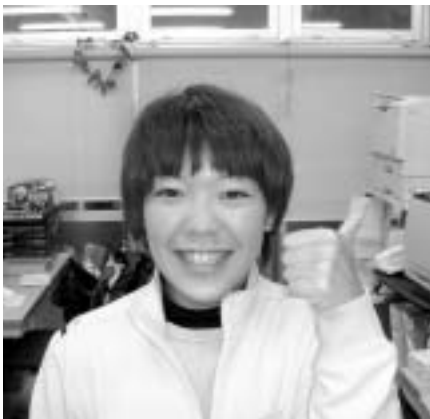
四年間働いて結婚、出産されて一回産休を取ったということですね、その後また戻ってきたのですが、変わったというか今はどうですか？

私の子供も施設の中にある託児所に預けているので、入居者の方とふれあう時間が多くあります。最初は人見知りや激しく、誰を見てもよく泣いていた娘でしたが、最近では自分から笑顔で手を振り挨拶ができるようになりました。こういった日常生活の中で、娘にもコミュニケーションの楽しさを学んでもらえたらいいなと思っています。

そうですね、福寿園は託児所がありますので、子供がいても働けるという点で環境は整っていますよね、どうも、有難うございました。

九期生 市川真弓さん

(五年目)



五年目ということですが、実際に現場で働いてみてどうですか？

そうですね、私は他の人とちょっと違って一年目からデイサービスに配属になり、次の年の途中からショートステイに配属になったのですが、一年目から現在に至るまでずっと在宅職員になっているのですが、現場と違うのは、家族とかケアマネさんなどの他部署の方との関わりを大切にしないといけないな、と思っっているのですが、他のサービスも使っているわけだからいかにしてその状態を伝え、連携していくかと、福寿園の中のことで考えるのではなく、他の家族、ケアマネ、他施設のことも常に考えるようにはしています。

連携という話がでしたが、たつぶく時代の人脈というか友達というかそういうのが、役立ついたりしますか？

はい、かなり役にたっていて、例えば担当者会議に行くのですが、他の施設のデイサービスに同期の子がいるので、かなり話しやすいということが情報をお互い共有しやすいということもあるので、「たつぶく」に入っていて良かったなとすごく思います。

答えにくい質問かもしれませんが、今後在宅を続けていきたいですか？

そうですね、現場にちょっと入っ

てみたいという気持ちもあるのですが、在宅で働くということはすごくやりがいのあることだし、自分を成長させてくれる素晴らしいことなので、是非続けていきたいなと思っています。

はい、頑張ってください。

十期生 大黒 茜さん

(四年目)

四年間現場で働いてみて、どうですか？今はどういう部署で勤務していますか？

今はショートでこられた方の、生活のお世話をさせてもらっています。シヨートの受入れとかの事務仕事ではなくて、シヨートで入所されている間の介護を行うという。

そうですね。

微妙な立場ですけども、特養も経験されているのですが、シヨートだから難しいとか何かありますか？

入所されている方は、ここがお家なので、住んでいるということ踏まえての介護とか接し方とかになるのですが、シヨートで来られている方は、帰る家があつて泊まりに来ているという感じなので、ご家族とのつながりも入所されている方よりも強く感じるところがありますね。

直接家族と会うことはないですね。

直接会うことはないのですが、利用者さんを介して、ご家族と私たちはお話を聞いたりしてという感じですね。ベッドとか畳とか使うものひとつにしても、入所者の方だとこちら介護者、職員がよく見て観察して、その方に合ったものを提供するという形になるのですが、ご家族の想いや考えとか、こうして欲しいという気持ちを含んで、そのようにやっていかなければいけないので、その辺が違ふなと最初に思いました。

自宅に近い形を再現する方向性に近いのかな？・・・そういう訳ではないのかな？

言われるように、シヨートだとそういう感じになる気がします。

シヨートスタイルばかりの棟での勤務ですが、日々ご利用者が変わるわけじゃないですか？その辺大変だと思うのですが何か気付くことありますか？なければいいですけど・・・
特養に住んでいる方は、毎日同じ顔というのが多く、それによるメリツト、デメリットいろいろあると思うのですが、利用者さんが日々変わることでメリツト、デメリットがあれば教えていただきたいのですが・・・
毎日、来る人が変わるといっのは、そこに泊まりに来ている人達、ご利用されている方々にとってはいろいろな人とならざるを得ないし、交流が持てるのでいいなと思う時もあります。

私達自身も毎日違う人が来ることによって、リフレッシュという訳ではないのですが、ずっと同じ人ではなく、悪い意味での慣れがなく、日々新鮮な気持ちで接することができています。

徐々に来る人とか、もちろん初めて利用する方もどんどん来ます。初めて来られる方の場合ですと、性格や病気の状態も判らないので、接し方や病気への対応など手探りの状態から始まるので、怖いというかなしいなという部分がありますね。

十二期生 片田智也さん
(もうすぐ三年目)

片田さんは、確か岐阜の中津川市から田原に来て、たつぶくを卒業して福寿園に入って、こちらに住みついた訳ですが、御結婚おめでとございます。

ありがとうございます。
こちらに住み着くというか、田原を選んだ理由があったりするのでしょうか？就職先も田原ですしね。

たつぶくに入ってから、いろいろな施設を見て、実習先での思いが一番強いというのがありますよね。第一段階、第二段階、第三段階と実習を経験して、様々な施設を経験して就職への思いが昂まるといっのがあると思うのだけれども、私に限っては、まず

は実家に帰りたくないという想いで引越したか奥さんの事を考えた時に、田原かな？と思って探してしました。福寿園はどうしてって言うのは、知人が多かったのもひとつのポイントでした。大きな施設ですので、福祉の社会の波に、もまれてみただけからという理由もあります。

なるほど、実際に福寿園という施設、法人で働いてみてどうですか？

皆さんユニークな方が多いので、田原出身ではない自分もそうですが、他県から来られている方がとても多いということ、声かけの仕方なども様々ですね。また、中途採用でこられた方の介護の仕方とか、多様な面も見ることが出来るので、すごく自分にとってはプラスの面が有り難いと思います。施設数が多いので、他の施設に応援に行くことさらに幅が広がることに繋がるので、すごく有り難いところに就職できたなと思っています。

今後、片田さんがここで働いていく中で、中津川色を出していこうという思いはあるのですか？
中津川色ですか・・・
中津川の言葉を使ってみるとか、中津川の自分の色を出していくのが・・・
そういうのはあるのですか？田原に染まりきっちゃったかな？

自分は田原に来てから専門学校の期間を入れると、五年目になるので

すけど、中津川色が消えちゃった面もありまして、ニューアンス的なところもあって、利用者さんに通じないところが実習の時にも多々経験していますので、自分自身、田原の言葉でこっちの方言でやっていきたいとは思っています。
十分田原の人間になれたということですね。
そうですね。
私もそう思います。
田原の人間になれたってお褒めの言葉をいただいたってことですかね。ありがとうございます。

福寿園で活躍する卒業生



十三期生 / 三浦佳奈さん



七期生 / 鶴飼孝義さん



五期生 / 田巻晴代さん

学校だより

職員紹介



(転入)

鈴木康允

平成二十二年四月から田原福祉専門学校の事務員として配属され、早一年が経とうとしています。

この一年を振り返ると、それまで在籍した税務課では到底味わうことのできない貴重な体験をさせていただきました。実習前の学生の後姿からは不安が溢れていて心配になりましたが、実習後の姿は非常にたくましく全くの別人です。学生の皆さんが次々と壁を乗り越えていく姿を見ていると、自分が忘れかけていたものを思い出させてくれます。

たつぶくでの学生生活は僅か二年ですが、社会に出る直前の思い出は、人生で一番記憶に残るものだと思います。その記憶がより素晴らしいものになるよう、「たつぶくに来て良かった!」と思ってもらえるよう全力でサポートしていく所存です。

頭は「COOL」に、気持ちは「HOT」に常に情熱を持って一緒に学校を盛り上げていきましょう。「DO YOUR BEST!」

学校行事

公開講座

平成二十二年十一月十三日(土)

『認知症になつた波平』
『認知症予防していますか?』

講師：渡辺哲雄氏

(『老いの風景』著者)

本年度の公開講座は、中日新聞コラム「老いの風景」の著者である渡辺哲雄氏をお招きし、認知症について、予防の観点からお話いただきました。身近なサザエさん一家をたえにとられた御講演は、御自身の体験談を交えての、とても楽しい内容であり、分かり易いお話だったと思います。

来場者一同がすっかり引き込まれ、会場内には笑いが溢れていました。



平成二十三年度は、『手足のないチアリーダー』、『あきらめないで』の著者である佐野有美さんをお招きします。皆さん是非御参加ください。

《お知らせ》

同窓会総会を開催します

平成23年5月22日(日)午前10時から

田原福祉専門学校 講堂にて

☆☆☆総会終了後に、さつまいもの植え付けを実施します。☆☆☆

同窓会活動

平成二十一年度に同窓会が発足し、二年目が過ぎようとしています。

昨年度に引き続き、さつま芋を栽培して、たつぷく祭で「大学いも」を販売しようという計画をしていたところ、地元の方のお声掛けもあり、田原福祉専門学校学生寮の前の畑をお借りすることができました。畑の石拾いから始まり、植え付け、芋掘りと、多くの卒業生が参加してくれて、なんとか一年間を終えることができました。

地域の方が助っ人役を担ってくれて、心強い一年間でした。

しかし、トラブルも。ビニールマルチで被覆したにもかかわらず、風でビニールがめくれて・・・植えた苗も飛んでいってしまいました。来年は、植える時期やビニールマルチの寸法をしっかりと整え、失敗しないようにしよう！反省点です！



芋づくりの一年

植え付けた苗の成長を気にしつつ、周囲に草が生えたりもして、特に雨の降らない夏場の水は気がかりでした。会長自ら水やりに来ることもしばしば。作物を育てるのは、やはり大変。地域の方が見兼ねて水をかけてくれるなど、すっかりお世話になりました、改めて感謝です。

昨年なたつぷくだよりでもお願いをしてありますが、畑の管理には人手が必要です。草取りや水かけなどほんの少しの時間に、畑に来て土と触れ合ってみませんか？お手伝いしてくれる方が必要です。そんなこんなで、十月の芋掘りの日を迎えました。



当日は、地域の方々や卒業生も多く集まっていたいただいたおかげで、作

業はとっても順調に進みました。



お芋の出来は 実に見事？？と つても大きな芋に成長していました。芋掘りの後は バーベキューをして懇親を深める機会が持てました。卒業生同士。まだまだ積極的に言葉を交わすまではいかなかったかもしませんが、施設でのお仕事の話題など出来たことと思います。

来年度もこの活動は継続！一人では参加しづらいな・・・なんて、迷わなくても「たつぷく卒」っていうだけで、心強いメンバーたちと顔を合わせる事ができるはずですよ。

バーベキュー参加者から 感想をいただきました

・比嘉マリサ、六期生です。 今日はどうでしたか？

・初めての芋掘りで、やったことのない体験をさせていただきました。 今後も参加したいと思えますか？
・はい！また休みが合えば是非！ 早めに言ったほうがいいよね。
・そうですね。今日はたまたま休みが合ったので。
・そうだよ。また来年楽しみにしています。

・十一期生、伊藤聖佳です。 どうでしたか？今日は。

・普段土いじりとかしないけど、そういう体験が出来たし、なかなか会えない人にも会えたりしたので楽しかったです。皆の中で作業するのも楽しいなって思いました。

また来年も来たいですか？
はい(笑)

・杉田裕香です。十期生です。 今日はどうでしたか？

・うーんと、思ったよりすごい大きなさつま芋が採れてびっくりしました(笑)お肉もおいしく頂いています。 どうですかねえ、こっぴどい体験は？ いい機会だと思います。色んな人と会えるし。初めて来たけど、また来たいと思います。

・十期生の藤原未来です。 どうでした、今日は？

・今日は...疲れました。足腰が痛いですね(笑)
・そうですね。大変だったと思います(笑)あの、でもどうでしたか？ やった感想として。
・楽しかったです。疲れたけど、楽しく出来ました。
・また、来年も？
・来年も頑張ってください。
・はい。

・五期生の嶋本です。

今日は芋掘りをする事でいろんな人と会えて良かったと思います。今年、苗の植え付けに参加できなかったので、来年は是非植え付けから参加して収穫の楽しさを倍増させたいです。

・七期生の福井武則です。

今日はどうでしたか？
今日は子連れで来ましたけど…感想をどうぞ。芋掘りどうだった？

・(子)うれしかった。

・(子)たのしかったです。

・そついつつとで来年もお願いします。

はい。子連れでもどんな方でも参加していただいて結構だと思いますので、これから続く後輩に一言。

…まあ、仕事で疲れとって来たくないの分かるけど、来れば必ず良いことがあると思うので、ま、一回来てみてください。楽しいよ (笑)

・十期生の藤江紅美です。

今日はどうでしたか？

・はい、楽しかったです。

・どういところ？

・どういところ？芋掘りが幼稚園ぶりなので、ただ手で掘るだけだと思っていたんですけど、体力使いますし、鍬とか使うことがもう珍しくて、新鮮で楽しかったです。

また来年はどうですかね？
ぜひ参加したいと思います。

・九期生の市川です。

たつぶくに来たのが多分二年ぶりくらいなので、久々に来てとても楽しかったです。

・どうですかねえ、土いじりとかは？

・結構土いじり好きなので、楽しかったです。またやりたいです。

・そうですか。ぜひまた来年植えるときに来てください。

・十三期、今年卒業した高橋です。

今日はどうでしたか？

・今日はですね、OBの先輩方とか先生方とか、地元の方と会うことが出来るというのが楽しみにきましたけど、本当に楽しかったです。またこういうね、OBの催しがあったら来させていだきたいなと思いました。

・十一期生、岡 達也です。

今日はどうでしたか？

・今日？最初の土いじりの時はねえ、ごめん、ほんと遅れちゃった (笑)

・いいですよ、はい。それで、その後どうから手伝ったのかな？ (笑)

・芋掘りから手伝ったけど、はつきりと覚えてないんですけど… (笑)

・植えるときには来たのかな？

・植えるときはねえ、来てないですね。じゃあこんなに芋が育っているど？

・うん、びっくりだね。ていうか何もしてなかったんで、申し訳ない気持ちもあつたけど…

ええ、ええ。でも、芋を見てどうでした？

・そやねえ、収穫するのは楽しいね。

・楽しいよね。うんうん。またどうですかねえ、来年も？

・ぜひ参加したいと？

・そうそう。植えるときと、収穫するときとだけ (笑)

・じゃあ、後輩に何か。

・もつと盛り上げていこうよ。ね。

・氏原 匠です。十二期生です。

植えるとき、確か来てくれたよね？

・はい、植えるときも参加しました。自分らで植えたやつが収穫できるとき感動はやっぱり格別ですね。



・そうですね。今日は鉄板係となりましたけど、どうですかね？

・いや、楽しいですよ。バーベキューも鉄板番は好きなので。

じゃあ、あのぜひ後輩に一言。後輩…。まあ、大変なこともあるけど、まあ楽しいことが多いし、いろんな人とお話も出来たりするので、ぜひ、参加して欲しいですね。

・福島 梓です。十二期生です。

えーと、今回は初めてですか？

・はい。

・どうですか？植えるときは居なかつたかね？

・居なかつたです。

・どうでした、今日掘ってみて。

・今日はお芋があんなにたくさん植えてあるとは思いませんでした。

・そうですね。それで、出身を聞いて欲しいってことなのですけど。

・出身は長野県の大田市です。

・じゃあ何？長野県から今日来たのですか？

・今日はたまたま遊びに来ていて、日にちが合ったので参加できました。

・長野から？まあ！ありがとございます！いっぱい食べてってくださいね。今日鹿肉がありましたけど食べました？

・食べました。初めての味でおいしかったです。

・良かったですねえ。長野から来た甲斐がありましたね。ありがとございます。また来年も機会があったらぜひ来てもらいたいと思いますけど。

・はい、よろしくお願いします。



オーナー
松原宣子 山下宏雄
お客様(敬称略)
岡 達也 河合俊樹
佐藤 渉 伊藤聖佳

オ 今日、皆さんの都合が合わず少ない人数となってしまいました。卒業して働き始めたばかりの方が二名お見えなので、仕事を始めた話を伺ってみましょう。

客 私は、小規模多機能型居宅介護とグループホームがあるところに勤めています。一年間でグループホームと小規模多機能の両方を経験しました。

オ 最初はグループホームに勤めたそうですがどんな感じでしたか？

客 入浴や食事の介助が多かったです。担当の利用者さんが決まっていたから、散歩や買い物に出かけることができ良かったです。

オ 小規模多機能はどんな感じ？

客 デイサービスとショートステイが合わさったものです。日によってデイを利用されたりショートステイを利用されたりと変わります。

オ 食事はどんな感じになるの？

客 うちの場合は、グループホームと一緒に専門の方が調理をして配膳などは皆で行ないます。

客 献立はどうなるの？

客 皆さんで考えています。

客 自分でご飯を作る経験がないと大変ですね。

オ ケアプランってどうしてるの？

客 担当は決まっていなくて、一人に対して会議を開いて皆で作成しています。

客 私の施設は、受け持ちが決まっています。自分が立てて会議に提出します。

客 一生懸命に立てたものがボツにされたときはほんとに悲しいです。

客 私の施設は、ケアマネージャーが現場にいて、手助けしてくれるのでありがたいです。

オ 何事も経験して成長していかないとな。今の仕事は楽しい？

客 楽しいです。最高に。

客 毎日の、利用者さんたちとのふれあいがいいよね。

客 笑顔が可愛いもんね。

オ では、お待たせしました。もうひとりの方、お仕事いかがですか？

客 何から何までわからないことが多い。習ったこともうまくできず。仕事覚えがとにかく遅くて皆さんに迷惑ばかりかけました。

客 学校ではどうだったの？

客 実習でも出来ないこともあって自信がなくて。

オ それは大変だったね。でも、昔よりは今は成長できた？

客 はい。何がいけないのかわかるようになってきました。周囲には迷惑かけすぎましたが・・・

客 迷惑かけた分お返ししないとね。

オ 頑張らないとね。介護は人間相手の仕事だから、技術だけじゃなくて、心が大切だよ。

オ 型通りの仕事を上手にこなすだけじゃなくて、利用者さんの求めていることを考えないとね。

客 相手に介護するだけじゃなくて、相手から貰うことのほうが多い。

客 上司に怒られた時に励ましてくれる人は利用者さん側の方が多いし。

客 「気にするな」って言うてくれたりしますね。

客 この仕事のいい所だよ。

客 それを繰り返していくうちに、だんだんと良い介護士になっていく。

客 その通り。苦労しなくちゃ。成長しないよね。

オ 成長するのは一番大切だけど安全にもいつまでも気を配って欲しい。報告されたヒヤリハットを他人事と思わず自分のことのように感じて気をつけないとね。

客 少しの自分の怠慢で、事故は起きる気がする。

客 短い時間だからって、車椅子のブレーキをかけなかったことで転倒をさせてしまうとか・・・

客 食事介助も相手のことを考えなくなると誤嚥が起こったり、詰ま

2011.1.11 開催



らせてしまったりする。

オ 大変な人の介助を進んでしてみたい。楽をすればそのままだけど、工夫することで成長できる。

客 向上心を持ち続けて欲しいね。

オ 二年目の方はどう？

客 初めて後輩ができて、伝えることの難しさがよくわかりました。

客 そうだよ。自分のできないことを認識して、常に勉強してないと人には教えられないよね。

客 そう、分かっているからこそ教えることができる。

客 謙虚さを忘れないでいて欲しいね。忘れたら誰も近寄らなくなる。

客 初々しい気持ち忘れられないようにしないとね。

オ 「たっぶく」を卒業した人はいつまでもそうであって欲しい。

客 そうですね。後輩達のために

も田原福祉のブランドを保ち続けていかなければね。